

水道管にも冬支度が必要です！

水道の凍結防止対策を

寒くなる前に
きちんと水抜きできるか
確認しておくで安心です！



12月から3月にかけては、特に水道凍結への注意が必要となってきます。
おもに、水抜き操作をしていなかったり、水抜きがきちんとできていなかったことが、凍結の原因になっています。前もって水抜き操作の方法を確認して「水道管への冬支度」をしましょう。

こんなときは要注意！

- 最低気温が -4°C 以下の日
- 最高気温が 0°C 以下の日
- 長期間水道を使用しない時



こんな場所は要注意！

- 家の北側などの日の当たらない場所
- 水道管が露出している場所
- 風当りの強い場所



水抜き操作方法



- ① 蛇口を開き、水抜き栓をしっ
かり最後まで閉めてください。
- ② 蛇口のハンドルを全開にして
ください。
- ③ 最後に蛇口に手を当て、吸い
込まれる感じがすれば、水抜き
完了となります。

※水抜き栓がきちんと開閉していないと、漏水や凍結の原因になりますので、ご注意ください。

- 電動式水抜き栓は、操作ボタンで水抜きを行います。
- ボイラーの水抜きが必要な場合もあります。

※操作方法は「取扱説明書」をご確認ください。

※アパート等の集合住宅の場合は、管理人や大家さんへお問い合わせください。

水抜き栓以外の凍結防止方法

水道管に巻きつける水道管凍結防止帯（凍結防止ヒーター）があります。ご使用の際は「取扱説明書」をご確認ください。

凍結したときの解氷方法

- ① 暖房器具を使って、室内をゆっくり暖めてみましょう。
(火災には十分注意してください。)
- ② 凍結した蛇口にタオルなどを巻き、その上からぬる
ま湯をゆっくりかけてください。



ぬるま湯を
ゆっくり

※ 熱湯をかけると蛇口が
破損する場合があります。

解氷できない・破損した場合

解氷できない場合や、破損してしまった場合は、右のページに掲載している、凍結解氷作業の対応可能な事業者（指定給水装置工事事業者）へお申込みください。

☎ 配水課 管路維持グループ ☎ 0178-70-7044

入院や出張などでご自宅を留守にされるお客さまへ

☎ 料金課 ☎ 0178-70-7010

入院・施設入所や出張などで、ご自宅を留守にするときは、水抜き操作など水道の管理には十分にご確認ください。

水道を長期間使用しない場合、使用しない期間の水道料金の請求を一時中断できます。詳しくは企業団ホームページをご覧ください。

